



## ■催しもの

『建築・建材展2011』特別企画展

林野庁ブース「国産材の魅力展2011」

テーマ:木の社会を目指す次世代建材プロジェクト

開催期間:2011年3月8日(火)～11日(金)の4日間

開催時間:10:00～17:00(最終日のみ16:30)

開催会場:東京国際展示場「東京ビックサイト」東5・6ホール

出展団体として、工務店サポートセンターから国産材委員会と耐火

火委員会の協力を得て、展示パネル、実物展示をします。

## ■講習会・セミナー・見学会

### ●講習会

全建連耐震診断改修施工指導者講習会(2日間連続)

主催:(財)日本建築防災協会・工務店サポートセンター

参加条件:①全建連会員又はJBN会員 ②建築士資格所有者

※本講習会では、PCを用いての実務講習です。CDを読み込めるノートPCを

ご持参下さい。

修了証・認定証発行について:講習後に行う考試試験に合格した方には、工務店

サポートセンター発行の「耐震診断改修施工指導者」認定証を交付します。また、

1日目及び2日目は、(財)日本建築防災協会の修了証がそれぞれ発行されます。

1日目(9:50～16:40)、2日目(9:00～17:30)

●広会場 2月3日(木)、4日(金)

会場:十勝産業振興センター 〒080-2462 帯広市西22条北2-23-9

定員:30名

●大阪会場 2月9日(水)、10日(木)

会場:西日本建設業保証(株)「建設交流会館702号室」

〒550-0012 大阪市西区立売堀二丁目1-2

定員:70名 耐震講習会問い合わせ先:事務局 坂口

「山辺豊彦の木構造講習会」

ー木構造を理解したい人のための徹底12時間講習ー

「ヤマベの木構造」をテキストに、木造住宅の構造計画・基礎の設計、力の流れを

考えた架構の組み方、断面設計のポイントなど、基礎から応用までを演習を交え

ながら徹底的に学び、木造住宅はもとよりこれからの木造建築物について根拠を

もった設計・施工、破たんのない構造計画ができることを目指した講習会です。

この機会に木構造力の向上にお役立て下さい。

日時:1日目 2月22日(火) 10:00～17:00 2日目 3月1日(火) 10:00～17:00

主催:工務店サポートセンター 共催:全建連、全建総連

会場:2月22日 建設プラザ東京 大会議室

3月 1日 全建総連会館 大会議室

講師:(有)山辺構造設計事務所 代表 山辺 豊彦氏

テキスト:「ヤマベの木構造」(当日配布します) 参加費:無料

受講対象者:全建連会員又はJBN会員

定員:50名 問い合わせ先:事務局 坂口

「長期・ちきゅう住宅国産材モデル型式マニュアル講習会」

長期・ちきゅう住宅国産材モデルの技術審査の円滑をはかる目的で、長期優良住

宅型式認定を取得した内容がこのほど型式マニュアルとして刊行されました。

型式の技術基準として「耐震等級2」、「省エネルギー対策等級4(IV地域)」、「維持管理

等級3」、「劣化対策等級3」を満たすもので、解説編と申請編で構成されています。

これをテキストにした講習会を下記の日程・会場で開催致します。講習修了者

には、工務店サポートセンターが修了証を発行すると同時に、型式技術者として

登録・管理します。

主催:工務店サポートセンター 共催:全建連・全建総連

開催日時 会場 定員

2月10日(木) 東京会場 定員300名(予定)

2月17日(木) 広島会場 定員150名(予定)

2月18日(金) 福岡会場 定員150名(予定)

2月24日(木) 大阪会場 定員150名(予定)

2月25日(金) 名古屋会場 定員200名(予定)

受講対象者:全建連会員又はJBN会員 問い合わせ先:事務局 坂口

「省エネルギー木造住宅の建て方」講習会

住宅の省エネ法の改正内容に基づき、中小規模の住宅に対して省エネ措置の

届出の義務化を始め、住宅事業建築主基準の制定の他、新築住宅及びリフォーム

へのエコポイント制度、住宅金融支援機構フラット35—20年タイプ、リフォーム

減税等の支援策も導入されています。これらの施策の基本となるのは平成11

年省エネ基準に適合した住宅です。

本講習会では、実際に現場管理を担当されている方を対象に、この基準に適合

する住宅の適切な断熱施工方法、省エネ基準の解説及び支援制度等を紹介する

ものです。この機会に、受講される事をお奨めします。

会場:全国47都道府県(全50会場)

主催:一般社団法人日本サステナブル建築協会

プログラム:13:00～16:30 参加費:無料

申込方法 WEBによる受講申込み:http://jsbc.or.jp/

FAXによる受講申込み:上記HPよりFAX用紙をダウンロード

申込み問い合わせ先:「省エネ住宅・建て方講習会」受付センター

TEL042-620-5175 FAX042-628-9026

●各種講習会のお申し込み

工務店サポートセンターHP→http://jbn-support.jp/トピックス/研修・講習

会よりお申し込み下さい。

●刊行物のご案内

●JBN版「住まいの管理手帳」戸建て編

(財)住宅金融普及協会が発行する同名の冊子(B5・128p)の改定の機会に、

JBN会員向けに増補しました。長期優良住宅の完成引き渡しの際、顧客へお届け

する住宅履歴情報の基本事項のリストなどを追加しています。顧客の住まいの

維持管理への理解を深め、「いえもりかて」との関係を一層効果のあるものに

するために、ご活用ください。頒価 (1,000円/冊)

●「木造建築士資格研修テキスト」平成22年度版

「長期・地域木造優良住宅」の信頼できる担い手に木造建築士

木造住宅の設計から施工、完成後の点検・維持にいたるまで、多岐にわたる情報

の掌握、知識・経験にもとづく総合的な能力を備えた人材が求められています。

木造住宅の品質の確保、性能の表示、評価、検査、生産履歴管理、保証など、新

たな法制度によって、建築士でなければ携われない業務も増えています。

本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、

木造住宅の設計・施工・管理に携わる人たちの学習専門書となっています。

定価 3,500円(消費税込)、発行・井上書院

2月末まで特価3,000円(送料共)(工務店サポートセンターへ直接注文した場合のみ)

■長期優良住宅関連の刊行物

●「長期ちきゅう住宅国産材モデル・展示住宅ガイドブック」

25事例の展示住宅の詳細をガイドブックとして刊行。一事例あたり6ページ

構成で紹介しています。A4版・164ページ。 1,000円/冊(税・送料別)

●「長期・ちきゅう住宅」仕様書

全建連・工務店サポートセンター刊行・09年3月、A4・118ページ。

本仕様書を使用した講習会の順次開催中です。

●「工務店サポートセンター監修・編」木造住宅・工事管理の実務」

彰国社から出版の予定です。編集段階で、長期優良住宅対応の補足作業を組

み込んだため、遅れました。近日発刊の予定です。

●「長期優良住宅マニュアル(Ⅰ.申請編) 残部僅か

工務店サポートセンター編、刊行・09年5月、A4・210ページ。

●「長期優良住宅マニュアル(Ⅱ.建材編) 残部僅か

工務店サポートセンター編、刊行・09年8月、A4・350ページ。

●「長期優良住宅マニュアル(Ⅲ.住宅履歴編) 残部僅か

工務店サポートセンター編、刊行・09年10月、A4・85ページ。

●2010年「ちきゅう住宅長期優良国産材モデル」パンフレット

「日本の木で、日本の技で、日本の家」を基本的コンセプトに、「CASBEEすまい

(戸建)」の評価導入などをともに「街なか型」、「地域環境配慮型」の新しい取り

組みを加えました。 1,500円/100部で頒布。

●「長持ちする家づくりのすすめ」顧客向けパンフレット 残部僅か

A3判一枚半折でA4見開きのカラー・パンフレットです。

送料実費で頒布。事務局までお申し込み下さい。

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織が「JBN(全建連の工務店ネット

ワーク)です。工務店サポートセンターでは「地域から必要とされ、信頼

される工務店」のためにさまざまな面から支援します。

●発行/お問い合わせ

一般社団法人 工務店サポートセンター

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階

TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669

E-mail:jbn@jbn-support.jp homepage:http://www.jbn-support.jp

発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

協力:社団法人 全国中小建築工事業団体連合会



FSC 森林認証紙と植物油インキ(Non-VOC)を使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。また、環境保全活動を積極的に推進するグリーンプリンティング認定工場で製造しました。

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C007925

http://www.jbn-support.jp

●役員からの「新年のごあいさつと抱負」

●事業報告・委員会報告

●会員団体の紹介「信州木造住宅協会」、JBN統計、木の家耐震改修・大勉強会速報

●お知らせ

全建連の工務店ネットワーク

JBN Japan Builders Network

■JBN会員数(2010年12月末日現在)

正会員 1,657社、協力会員 105社(うち情報会員31社)

http://www.jbn-support.jp

# 工務店サポートセンター レポート

2011 February No.19

2月号

発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

## 新しい年のJBNと工務店サポートセンター

### 役員会構成メンバーからの「新春にあたってのごあいさつと抱負」

#### 具体的な課題への取り組み

謹んで新年の慶賀を申し上げます。本年も本誌・工務店サポートセンターレポートを通じて、役に立つ的確で迅速な情報発信に努めて参りますので一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

旧秋開催されたジャパンホームショーでは展示にあわせて、本誌・増刊号(工務店サポートセンター活動紹介特集・8ページ)を刊行し、これまでの取り組みも含めて活動の内容を広く内外に向けてアピールしました。その内容は僅か数年の活動としては多岐・多彩といえますが、JBNという工務店全国組織をより強力なものとするには整備、充実させねばならない課題が少なくないことも痛感させられました。しかし、その課題が具体的に増えてきたのは大きな前進といえるでしょう。それが先月号の理事長の年頭所感で述べられていた12の事業です。今後の成果にご期待下さい。

#### 支援体制の整備に一致団結

昨年中は工務店サポートセンターの活動にご協力いただきありがとうございました。

昨年、政治は革命的政権交代を果たしましたが混迷から抜け出せず、高齢化少子化の流れの中で経済は低迷し、私ども国民がもがき苦しんだ一年でした。住宅産業も例外でなく新築住宅100万戸時代を迎えて、大手ハウスメーカーや工務店が入り乱れて、し烈な生存競争が繰り広げられております。住生活基本法、CO<sub>2</sub>25%削減をはじめ長期優良住宅、住宅エコポイント、耐震診断・改修などの政策は木造軸組工法に取り組み私ども工務店にとっては有利な状況にあります。これらを追い風とするには個々の工務店の弱点とされる情報の量と質の不足、技術力の不足とパラツキなどをどうカバーするかです。工務店サポートセンターではそのための支援体制の整備に向けて青木理事長を先頭に理事、執行役員が一致団結して活動していく所存です。

#### 地域工務店の大切な役割の強化

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年はJBNが誕生して4年目を迎えます。会員も2,000社になろうとしております。事務局も一段と充実してまいりました。まさに日本を代表する工務店による工務店の組織となつてまいりました。

家づくりは国民生活の基礎であり、その人間形成にも大きな影響を与えるものです。地域工務店はその大切な役割を長年にわたり担って来たり、これからも担ってゆかなければなりません。その実践の為には各工務店がしっかりした家づくりに対する理念を持ち、堅実な経営が求められます。JBNは、そのようなニーズに側面から支援してゆきます。どうぞご活用下さい。

私は、総務担当としてJBNの運営、充実、強化、そして人材の活性化に努め、組織の健全な運営と伸展に努力をしておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

理事・センター長 藤澤 好一



#### JBNの役割はますます重大に

新年明けましておめでとうございます。昨年は、研究・開発担当として試行錯誤の繰り返して、助走の年でした。本年は卯年にちなみ、ホップ・ステップ・ジャンプを目指したいと思っております。

住宅着工数も80万戸前後で推移し、本格的にストック活用の時代になり、国も整備事業として、耐震改修工事、バリアフリー改修工事、省エネルギー改修工事を重点政策として掲げ、より一層のストック重視にシフトし始めました。それに伴い、工務店として、瑕疵保険、インスペクション(検査・調査)、住宅履歴等の対策が不可欠になると思われます。また今後は、住宅にも自動車産業と同様、低燃費、省エネ、自然エネルギー活用が求められるのが当然となり、工務店単独では、対応が厳しい状況を迎える事になります。工務店サポートセンター(JBN)の役割はますます重要となります。

執行役員(事業担当) 長森 延久



理事・全建連事業委員長 河井 英勝



#### 既存住宅改修にもインスペクション制度

新しい年を迎えこんなことを考えています。

住宅建築のこれからは新築よりも改修工事が増える傾向にあります。改修工事の実際は診断から計画・施工・管理の全般にわたって新築にはない難しさがあり、現場を悩ませます。同時にテレビ番組等の影響によって、お客様の方では「新築そっくりさん」になるとの勘違いもあり、これも現場にとっては悩みの種になります。改修工事の場合は思いどおりにならない事もあり、これが原因で裁判所等に持ち込まれる案件も増えています。トラブルを防ぐ手段として、新築だけでなく既存住宅の改修工事にも使えるインスペクション制度の充実が求められるところです。今年の課題はこの様なことかな、と考えています。信頼される工務店となるために、今年も一緒に頑張りましょう。

執行役員(財務担当) 後関 和之



執行役員(総務担当) 大野 年司



#### しっかりと信頼される組織に

新年明けましておめでとうございます。毎年のことですが今年こそはと思い、この時期を過ごします。

景気はどうやら良く横ばいの様子、私をはじめ工務店の経営は相変わらず大変かと思えます。そんななかでもJBN会員として登録され、工務店サポートセンターを活用される工務店がもうすぐ2,000社になろうとしております。今年中には、目標の3,000社に達成させたいと考えております。一つ一つは力のない個を結集させ、名実ともに日本最大の工務店組織をつくり上げ、国の施策に私たちの声をしっかりと反映させたいと思っております。同時に住宅産業に関わる多くの企業の方たちにも協力会員として参加していただき、消費者の皆さまからも信頼いただけるしっかりとした組織に育てていきたいと考えております。

執行役員(組織統括担当) 和田 正光



\*青木宏之理事長のごあいさつは新年(1月)号に掲載しています。

## 暮 命 記 (ほやき)

日本が元気なころの組織を支えたのは、年功序列、終身雇用、企業内組合という三種の神器。右肩がりの目標に向かって一丸となれた。人員削減、非正社員やフリーターなどの雇用が当たり前現在の理解の及ばない世界だ。今年、若い知己から届いた年賀状でも、職場が変わったという知らせが増えた。中国、シンガポールなどアジア圏で働いているとか、親の介護で郷里に職場を移したというものだ。雇用の流動化は広いエリアに及んでいる。▼サポートセンター事務局スタッフの構成も流動的で多彩だ。目標を共にし、どうすれば一丸となれるか。年頭、そのための所信表明を理事長が一同に訴えた。年初の役員会でも一致団結を申し合わせた。年功序列は、儒教でいって長幼の序とは違うのだが、トップページの役員配列は上段から左右への年齢順。序列などでつまらぬ亀裂を生じさせないための配慮でもある。(F)



## 活動報告

### ■前月号以降の活動

○第1014回 役員会1月11日(火) 14:00~16:30

出席者 理事3名 執行役員4名 事務局3名

#### 【青木理事長挨拶】

今年は、全建連もサポートセンターも勝負の年になる。組織全体のベクトル合わせをしっかりと行い、強固な組織作りを行っていく。JBN会員3,000社、協力会員300社を実現し、住宅履歴の受け入れも積極的にやりながら自立し、継続的に運営が出来る組織の基盤を固めたい。

1月17日に神戸で大震災を記念した耐震の勉強会がある。センター長が司会を務め、全建連会長の私、国交省井上審議官、全建連田村委員長とも、耐震改修施策についてパネルディスカッションを行う。また、1月24日には次世代の会と国交省の生産課若手担当官との交流会があり、有意義な意見交換の機会としたい。年初から活発な活動で弾みをつけたいので協力をお願いする。

#### 【藤澤センター長挨拶】

年末年始は溜まった資料整理で過ごした。資料の中にサポートセンター関連のものが多く、改めて工務店全国組織化の数十年の背景や必要性を認識させられた。こうした背景、経緯があって現在にいたってあり、それらが実を結ぶ機会到来の感を強くした。前進の年にしましょう。

#### 【主な報告事項】

- 1) 会員実数、社員応募状況、住宅履歴登録数
- 2) 移住・住みかえ支援機構との提携  
1月14日実施のハウジングライフプランナー試験結果を受け、登録後、新築についてモデルケースとしてスタート。一般会員向け募集は、既存と新築の仕組みを整備した後になるが、速やかに開始できるよう協議を進めていく。
- 3) 12月末の財務諸表について
- 4) 委員会活動報告

#### 【主な審議事項】

- 1) 平成23年度工務店サポートセンター年間計画  
主要な行事日程の確認、社員総会、JBN全国大会(テーマ)、JHSなど。JBN全国大会は、7月26日または27日開催予定とし、テーマ設定など準備を急ぐ。
- 2) 運営委員・委員長連絡会議の位置づけ  
工務店サポートセンターがテーマと役割分担を決めコンサルに発注する。
- 3) 各委員会の次年度の活動計画作成について  
各委員会の活動は、会員への還元と効果を勘案した活動計画とする。
- 4) 「建築・建材展2011」特別企画展・国産材の魅力展への出展することとした。

[次回] 2月8日(火) 14:00~15:30

### 青木理事長の動き

2010年12月

- ・14日(火) 工務店サポートセンター役員会
- ・15日(水) 国交省にて神戸耐震大勉強会打合せ  
木の家耐震改修推進会議
- ・16日(木) 木の家づくりから林業再生を考える委員会
- ・21日(火) 住団連政策委員会  
全建連四役会・全建連理事会

2011年1月

- ・6日(木) 住宅保証機構理事長、専務以下10名打合せ(センター長も)  
サポートセンター事務局員本年度方針発表
- ・11日(火) 国交省あいさつ(センター長も)  
神戸耐震大勉強会打合せ  
工務店サポートセンター役員会
- ・12日(水) パナソニック電工社長打合せ  
東京商工会議所打合せ
- ・13日(木) 防耐火委員会・国産材委員会出席
- ・14日(金) 移住住みかえHLP講習会  
人材育成委員会
- ・15日(土) 中国木材互礼会
- ・17日(月) 「木の家」耐震改修大勉強会 in 神戸」分科会4・テーマ①パネラー(進行・センター長)

## 委員会・WG 報告

年末年始のため、委員会は限られた活動となりました。

### 次世代の会

#### ●第8回次世代の会

国土交通省との意見交流会  
日 時:1月24日(月) 15:00~17:00  
場 所:国土交通省住宅局会議室

- ・住生活基本計画の見直しについて
- ・税制改正について
- ・意見交流会

### 国産材委員会

#### ●正副委員長会議

日 時:1月13日(木) 15:00~17:00  
場 所:建設国保会館2F会議室

- ・セミナー第4弾の開催について  
開催日時:2月24日(木) (予定)  
開催場所:新・木材会館(東京新木場)  
テーマ:「木造建築の木材を使った防火対策について(仮)」  
講 師:(財)日本住宅・木材技術センター
- ・23年度の委員会活動について  
セミナー開催:6・8・10・12月に開催予定。テーマは4月の正副委員長会議で検討。
- ・「建築建材展2011」林野庁ブースへの出展について  
開催日時:3月8日(火)~11日(金)  
開催場所:東京ビッグサイト  
防耐火委員会と連携し、出展の準備をおこなう。国産材委員会では各日1名を説明要員として配置することに決定。

[次回] 平成23年2月 予定

### 環境委員会

#### ●第4回委員会 1月26日(水) 14:00~18:00

場 所:東京シティーエアターミナル会議室

- ・CASBEE戸建改訂版の勉強会
- ・省CO<sub>2</sub>住宅のユーザー向けアウトプット帳票の検討

### 増改築委員会

#### ●第1101回委員会 1月19日(水) 15:00~17:00

場 所:日本橋公会堂会議室

- ・平成22年度高齢者居住安定化モデル事業について
- ・平成23年度新規事業について

### 防耐火委員会

#### ●第5回委員会 1月13日(木) 10:30~12:00

場 所:建設国保会館2F会議室

- ・省令準耐火認定申請に添付する特記仕様書の内容確認  
記載事項を修正し、試験所発行の試験報告書添付のうえ申請手続きを速やかに進めることを確認。
- ・外壁防火構造大臣認定の仕様を確認  
早急に試験所を確認し耐火試験を実施する。
- ・「建築建材展2011」林野庁ブースへの出展について  
開催日時:3月8日(火)~11日(金)  
開催場所:東京ビッグサイト  
国産材委員会と連携し、出展の準備をおこなう。当委員会では出展物(展示パネル等)の準備をする。

### 改良型木造軸組工法委員会

#### ●WG 1月25日(火) 13:00~15:00

場 所:東京シティーエアターミナル会議室

- ・申請への指摘事項の対応内容確認と経過報告
- ・型式マニュアルと要素実験の内容確認

会員団体の紹介 <http://www.soyano.com/mokuzou/>

## 信州木造住宅協会

### 信州工務店サポートセンターの整備・充実をめざす

2009年4月、(社)全建連理事会において会員団体として加盟が承認され、6月に設立総会を開催し、任意団体として発足しました。スタート時の正会員(工務店)数は103社、推進会員(建材・木材業者)が2社、賛助会員(住設・建材メーカー、木材業者)が21社でした。

会員募集は、当時瑕疵担保履行法の施行前ということもあり、住宅瑕疵担保責任保険への対応や長期優良住宅のサポート、住宅関連の情報提供などの工務店サポートで得られるメリットを中心に呼びかけを行いました。

当初の業務として手掛けたのは、「ちきゅう住宅検査員講習会」、「長期優良住宅説明会」、「同申請マニュアル・住宅履歴情報マニュアル講習会」、「協会会員募集説明会」などで、サポート業務は手探りの状態でした。しかし、これらの講習会を通じて工務店が求めているものが具体的に掴めるようになり、サポート業務が行える体制を整えてきました。2010年度を迎え、長野県独自の補助金制度「ふるさと信州・環の住まい」に対応するために「CASBEE評価員講習会」をはじめ「木造建築士試験対策講習会」、「長期優良住宅技術基準勉強会」、「信州の森-川上から川下まで-見学会」などで会員工務店の要望に応えられるようになり、それなりの評価も得られるようになりました。

この一年で、目指してきた地域密着型の顔が見える工務店サポートセンターの体制が整えられたのではないかと考えております。

第2回の定期総会を迎えた段階で、多少の入れ替えはありましたが、会員数は5社増の維持となりました。次年度はより積極的な取り組みを進め、会員増強につなげたいと考えています。しかし、実際面ではセミナーや講習会への参加、住宅瑕疵担保責任保険や信州MJK-CADセンター(設計・申請サポート)の利用が会員の半数にとどまっており、現会員が利用してメリットがあるサポート事業の内容に事務局、役員会では頭を悩ませているところです。

昨年11月、それまでの半年を振り返り講習会の参加人数や集まり具合などから、講習会やイベントの内容、それらの計画・募集スケジュールなどを見直し、参加者が予定をたてやすいように年間の事業計画としてスケジュールを示すようにしました。役員会は2カ月毎に開催し、協会の活動方針、セミナー・講習会の開催計画などを話し合い、地域工務店のための地域工務店による協会運営と組織づくりを目指しているところです。

国の施策や補助金の対象が新築から増改築へと移行している中、来年度の事業計画は、既存改修・耐震改修・エコエネルギーリフォームなどのセミナーを軸に木造住宅のスペシャリストとしての地域工務店の人材のスキルアップにつながる事業を軸に展開することにしています。また、一般社団法人化を視野に入れたの整備と充実をはかり、長野県の地産地消につながる地域活性化を目指します。(F)



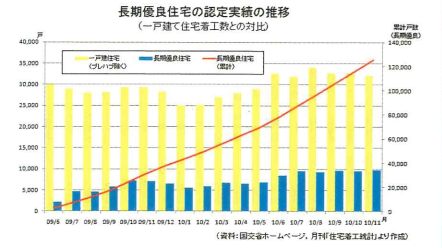
勉強会に集まった会員(中央が小林会長)

## 工務店サポートセンター・統計

住宅履歴情報サービス機関(いかもり・かるて)の利用状況

### ・長期優良住宅

2009年6月施行から1年半が経過、国土交通省発表では、昨年11月までに長期優良住宅の建築計画認定は、累計で128,327戸、うち共同住宅等を除く一戸建て住宅で125,638戸に達しています。



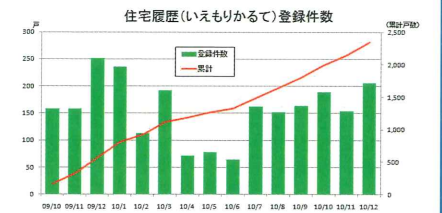
一戸建て住宅の着工戸数に占める長期優良住宅の認定戸数は次第に増加する傾向がみられます。

### ・住宅履歴情報サービス

工務店サポートセンター・住宅情報サービス機関(愛称-いかもり・かるて)では、「住宅履歴情報(愛称-いかもり・かるて)保管・閲覧サービス機関」と利用契約し、2009年10月より運用を開始し、昨年12月末までに2,350戸が登録されています。利用対象は「JBN会員」のほか「JBN住歴工務店」として一般工務店ですが、利用のほとんどが「JBN会員」です。

「いかもり・かるて」の利用は、「長期優良住宅」で95.8%と大勢占めており、そのうち「先導的モデル事業」が66.2%、「普及促進事業」22.0%、「一般住宅」は11.8%となっています。

「先導的モデル事業」では、「いかもり・かるて」の利用を義務付けており、保管のデータ形式も電子情報としています。「先導的モデル事業」の終了によって、この傾向に大きな影響をもたらすこととなります。今後は「既存住宅改修」、それらの流通活性化にともなう事業などでの利用が拡大するものと思われます。



## 木の家・耐震改修大勉強会 in 神戸 速報

1月17日(月)、阪神大震災から16年目となるこの日、神戸国際会議場に1,000人を超える参加者を集めて開催されました。木の家耐震改修をテーマに午前9時から午後5時閉会までの長時間、盛り沢山のプログラムが用意され、文字通りの大勉強会となりました。午後は、5つの分科会に分かれて、講座、事例発表、パネル・ディスカッションなどが行われました。

分科会4の「木の家・耐震化と住宅業界」テーマ①「耐震化の課題・問題点と展望を住宅業界の代表などが語り合う」では、国交省・井上俊之審議官、全建連・青木宏之会長、全建連総・田村豪勇委員長をパネラーに、耐震改修の政策と地域の担い手の役割、取り組みなどについて討議しました。結論として、改修工事の難しさ故の地域の専門家の役割の重さを確認しました。進行役を務めたのは藤澤センター長。

最後に、阪神淡路大震災「16年目の千人宣言」を採択、地震に強い(木の家づくり)の推進を誓いました。(F)



●今回も紙面の都合により「北米住宅産業ツアーレポート」はお休みしました。